

FIRE119

2026.3
No.46



- P2. 火災予防特集 ～あなたの行動で火災は防げます～
- P3. 防災展、火災予防ふれあいコンサートを開催
- P3. イイテンケンの目キャンペーン
- P3. 加茂出張所新築移転
- P4. 2025年版消防白書

火災予防特集

あなたの行動で火災は防げます



火入れ・野焼きに注意!

当組合管内では、火災の約3割が火入れ（野焼き）によるものです。「少しだけだから」「いつもやってるから大丈夫」という油断が、思わぬ延焼を招くおそれがあります。火入れは一度火が広がると人の力では制御が難しく、風向きや地形によっては瞬時に燃え広がる大変危険な行為です。

〈火災を防ぐポイント〉

- ・風の強い日、乾燥した日は絶対に行わない
- ・周囲の枯れ草を除去し、消火用水を準備する
- ・一度に多量の焼却は行わない
- ・火から目を離さず、完全に消火するまで現場に残る
- ・火入れをする前日までに最寄りの消防署へ届出を行う



※火入れ後の「くすぶり」が原因で、数時間後に再び延焼する事例も発生しています。十分な散水と余熱の確認を行い、わずかな煙でも軽視しないようにしましょう。



火災とまぎらわしい煙または火災を発すおそれのある行為の届出書
(津山圏域消防組合HP)

リチウムイオン電池火災が増えています

(スマホ・モバイルバッテリー等)

スマートフォンやモバイルバッテリーなど、用されているリチウムイオン電池による火災が、全国的に増加しています。劣化や落下衝撃、充電中の高温状態などが引き金となり、突然発火するケースもあります。

〈こんな症状があったら危険〉

- ・本体が異常に熱くなる
- ・膨らんで変形している
- ・焦げたような臭いがする
- ・煙が出る
- ・パチパチ音がする



〈発火時の対応〉

絶対に無理をせず避難を最優先してください。発火直後は煙や火花が激しく危険です。火や煙が収まり、近づける状況であれば、次のように対応してください。

- ・大量の水をかけて冷却する
 - ・小型製品は、水を張った容器に沈めて冷却する
- ※危険を感じたら119番通報してください。



リチウムイオン電池使用製品による発火事故に注意しましょう
(消費者庁ウェブサイト)

感震ブレーカーで通電火災を防ぎましょう!

感震ブレーカーとは、地震の揺れを感知して自動的に電気を遮断し、停電復旧時に損傷した配線などへ電気が流れ込むことで発生する「通電火災」を防ぐ装置です。

感震ブレーカーには、分電盤に取り付けるタイプと、コンセントに差す簡易タイプがあります。

〈こんな場合に役に立ちます〉

- ・夜間に地震が起きて避難が必要になったとき
- ・高齢者や子どもだけでブレーカーを切りに行けないとき
- ・留守中に地震が発生した可能性があるとき
- ・家電が多い家庭や、配線が古い建物の場合

※地震後の火災は、避難の妨げになるだけでなく、延焼拡大につながる危険があります。住宅の防火対策の一つとして、感震ブレーカーの設置を検討しましょう。

地震時の通電火災にご注意



感震ブレーカー特集
(津山圏域消防組合HP)

消防・防災展 津山消防音楽隊 火災予防ふれあいコンサートを開催

令和7年11月9日(日)、正午から津山市新魚町、アルネ津山7階、ベルフォーレ津山において、津山市、岡山県美作県民局、津山圏域消防組合共同開催の「消防・防災展」を開催しました。イベントでは住宅用火災警報器の展示、防火衣の試着等を行いました。



また、同日午後2時から「津山消防音楽隊 2025火災予防ふれあいコンサート」があり、今年で17回目を迎えるこのコンサートは、地域の皆様に火災予防の大切さを楽しく学んでいただくことを目的としています。

当日は当組合の活動の様子や演奏曲のイメージに合わせた映像を投影しながら、音楽隊による迫力ある演奏が披露されました。また、腹話術での防火啓発のコーナーもあり、子どもから大人まで楽しみながら防火意識を高めることができました。

参加いただいた皆様から「楽しく学べた」といった声が寄せられ、改めて防火、防災の大切さを伝える有意義な時間となりました。



岡山県下14消防本部が合同で 街頭啓発を実施

「11月10日はイテンケンの日」キャンペーン

令和7年11月10日(月)、JR岡山駅前(岡山市北区駅元町)において、岡山県下14消防本部が合同で「11月10日は住宅用火災警報器のイテンケンの日」キャンペーンの一環となる街頭啓発を行いました。

住宅用火災警報器の設置義務化から10年以上が経過し、機器の故障や電池切れが発生する可能性が高まっていることから、住民の皆さまに日頃から点検を行っていることを目的として、令和4年から毎年、県下消防本部が合同で啓発活動を実施しています。

当日は、県内14消防本部の職員がJR岡山駅前に集まり、各消防本部の防火衣を着用して通行者へ点検の重要性を呼びかけました。津山圏域消防組合からも職員が参加し、住宅用火災警報器の適切な点検と交換の啓発を行いました。

今後も、より多くの方に防火の大切さが伝わるよう、マスメディアにも取り上げられる効果的な広報活動を進め、火災による死者の減少につなげてまいります。



加茂出張所が新築移転

昭和49年に建設された「加茂出張所」は、長年にわたり地域の安全を守る拠点として活躍してきました。しかし、建物の老朽化が進んだことから、建替え・移転を行うこととなりました。新しい庁舎では、より大きな車両にも対応できる設備を備え、災害や緊急時にも迅速な活動が可能となります。皆様の暮らしの安全と安心を、これまで以上にしっかりと支えてまいります。移転時期は令和8年3月下旬を予定しています。



【新庁舎の特徴】

- ・ 出勤までの時間を短縮する予告指令に連動した車庫オーバースライダー
- ・ 傷病者(患者)及び職員の衛生を保持するための救急消毒室
- ・ 災害指令を受令しながら防火衣等の着装を可能とした出勤準備室
- ・ プライバシー配慮型の仮眠室
- ・ 女性職員が勤務可能となる専用施設(浴室、トイレ、仮眠室)など



火災件数98件（前年比+7件）

死者4名 負傷者11名



市町別
火災発生件数

津山市	59件	奈義町	2件
鏡野町	8件	久米南町	5件
勝央町	3件	美咲町	21件

出火原因

第1位	火入れ(野焼き・たき火を含む)	28件
第2位	放火・放火の疑い	11件
第3位	電灯・電話等の配線	4件

逃げ遅れを防ぐカギは住宅用火災警報器

住宅火災では、火災に気付く遅れが被害を大きくする要因となります。特に就寝時は煙を察知しにくく、避難が遅れる危険があります。住宅用火災警報器は、煙や熱を早期に感知し、警報音でいち早く知らせることで初期対応と避難行動を助ける大切な装置です。適切に作動させるため、定期的な点検と設置から10年を目安とした交換を行いましょう。

◎津山圏域管内令和7年調査結果

設置率 85.6% (全国84.9%)

条例適合率 64.7% (全国65.8%)

※条例適合率とは、設置義務対象部分すべてに設置されている割合



住宅用火災警報器特集
(津山圏域消防組合HP)

救急件数8,392件（前年比+68件）

出動原因

第1位	急病	4,924件
第2位	一般負傷	1,474件
第3位	転院搬送	1,092件



出動原因で急病は毎年1位となっています。急病の中で「呼吸器系」疾患が最も多く、その中で「高齢者」が最も多く救急搬送されています。呼吸器疾患により救急搬送された高齢者のうち、約8割が入院に至っています。インフルエンザなどの感染症を防ぐためにも、マスクの着用等による予防対策が重要です。

救助件数122件（前年比-6件）

出動原因

第1位	その他の事故	61件
第2位	交通事故	53件
第3位	機械事故	5件



近年の傾向として住居閉じ込め等の事案が増加しています。体調に不安がある時は携帯電話を近くに置いておくなどの対応が望ましいです。次に多いのが交通事故です。事故の原因としてはヒューマンエラーがほとんどです。お出かけの際には時間に余裕を持ち行動するように心がけてください。

第53回全国消防救助技術大会に出場

中国地区消防救助技術指導会を見事勝ち抜いた小原選手が、兵庫県三木市で開催された全国大会に出場し、全国各地の強豪選手を相手に、優秀な成績を収めました。(2025.8.30)



ロープブリッジ渡過

小原 勇二 (柵原出張所)

空から守る地域の安全～消防ドローンの運用～

当組合では、災害時の情報収集や救助活動に活用するため、消防活動用ドローンを運用しています。現在3機を保有し、「中央消防署」「東消防署」「西消防署」にそれぞれ配備しています。

ドローンは上空約150mまで上昇でき、上空からの状況把握や、人が立ち入れない場所での安全な情報収集が可能です。

運用は操縦者・指揮者・補助者の3名1組で行い、現在27名の操縦士(うち女性1名)が従事しています。



令和6年度における情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況

○情報公開制度の運用状況 (単位: 件)

受付件数	公開決定		非公開決定		取り下げ
	全部公開	部分公開	非公開	うち文書不存在	
10	1	6	3	0	0

○個人情報保護制度の運用状況 (単位: 件)

受付件数	公開決定		非公開決定		取り下げ
	全部公開	部分公開	非公開	うち文書不存在	
0	0	0	0	0	0

○火災情報案内(0868)23-9999

○救急当番案内(0868)23-9910

○消防本部・消防署 代表電話(0868)31-1119

- 総務課(0868)31-1250 久米南分署(086)728-2119
- 予防課(0868)31-1251 日本原分署(0868)36-2284
- 警防課(0868)31-1252 加茂出張所(0868)42-3100
- 情報指令課(0868)32-1119 柵原出張所(0868)62-0919
- 中央消防署(0868)31-1253 旭出張所(0867)27-2459
- 東消防署(0868)21-0119 奥津出張所(0868)52-0929
- 西消防署(0868)54-5119



消防クイズ (〇〇の中に入る2文字は?)

地震後の火災の多くは停電復旧時に起こる通電火災が原因だと言われています。この通電火災を防止するために有効なのは「〇〇ブレーカー」

- ①漏電 ②感電 ③地震 ④感震 ⑤関心

応募方は、はがき又は二次元コード(締切は5月末日)

官製はがきはクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号をご記入の上、下記宛てに応募してください。二次元コードの通信料は応募者の負担になります。ご提供いただいた個人情報は、抽選のみに使用します。正解された方には抽選で記念品を差し上げます。なお、発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

〒708-0822 津山市林田95
津山圏域消防組合 予防課 消防クイズ係宛



応募はこちらへ

